

# 前歯のかぶせもの 修復治療

※院内で説明を聞いた上、本物の模型をご覧になってから  
素材をお選びいただけます。

修復物の種類	金属修復	金属&セラミック修復	セラミック&樹脂	セラミック	セラミック
	レジン+金銀パラジウム	メタルボンド	ハイブリッドレジン	オールセラミック	ジルコニアセラミック
新品時					
安全性	★★ ・固いので、対合する良い歯を傷めることがある ・歯との密着性が低いので隙間が歯周病菌の温床に ・腐食で健康への影響 ・欧米では使用禁止の国あり ・金属アレルギーの可能性 ・掌蹠膿疱症の可能性	★★★★ ・歴史があり安定した材質である ・腐食で健康への影響 ・金属アレルギーの可能性 ・掌蹠膿疱症の可能性	★★★★★ ・金属アレルギーの心配なし	★★★★★ ・歯と同じ摩耗度で噛み合わせで歯を傷めない ・金属アレルギーの心配なし ・生体親和性が高い	★★★★★ ・歯と同じ摩耗度で噛み合わせで歯を傷めない ・金属アレルギーの心配なし ・人口関節にも使用され、生体親和性が高い
審美性	★ ・銀色が審美的に劣る ・銀色が黒く変色 ・歯茎が黒ずむ可能性	★★★★★ ・見かけは審美的だが金属が透けて見える ・歯茎が下がると金属が見えてしまう ・歯茎が黒ずむ可能性	★★★ ・セラミックと樹脂の混合で色味現在の歯と同色 ・セラミックと樹脂の混合で、長期的には変色する	★★★★★ ・自分の歯と同色に作れるので他人に気づかれません ・変色はほとんどなし	★★★★★ ・自分の歯と同色に作れるので他人に気づかれません ・変色はほとんどなし
耐久性	★★ ・耐久性はある ・金属が口内で腐食する ・腐食したまま放置すると内部虫歯や菌の温床になる	★★★★★ ・高い耐久性 ・セラミック部は強い衝撃で割れる事がある	★★ ・金属やセラミックに比べて耐久性がなく衝撃で割れる事がある	★★★★★ ・耐久性はあるが強い衝撃で割れる事も	★★★★★ ・金合金と同程度の耐久性
院長コメント	一番の問題は経年的に金属がイオンとして溶け出し金属アレルギーの原因になることと、腐食により隙間からむし歯ができやすいことです。	歴史が長くセラミック歯の代表とされてきましたが、アレルギー体質の方は避けたほうが良いです。	経年的に多少の変色があり光沢がなくなります。強度的には他に比べて弱いです。	最新のセラミックです。単独の歯で使用する分には見た目も強度も十分です。	最先端のセラミックです。強度も金属並みでブリッジの使用にも耐えられます。
経年後	 3年後の写真。色が黄ばんでいます。下が自分の歯。歯茎も黒ずみ始め。今後広がる。	 3年後の写真。色は変わらないが、歯茎が黒ずむ。黒ずみは今後広がる。	 3年後の写真。少し色が黄ばんでいます。歯茎は健康な状態です。	 3年後の写真。色は変わらず。歯茎も健康な状態です。	 新素材で経年後の写真はありませんが、セラミック素材なのでセラミックと同等です。 オールセラミック素材と変わりません。
治療単価 (税抜)	保険診療	@80,000円	@60,000円	@100,000円	@120,000円